

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業の内容	事業費	交付金充当額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)			外部有識者からの評価	事業担当課		
						指標	目標値	実績値				
1	移住定住・人材確保戦略的展開事業	<p>県・市町村・企業・大学等「オール山形」で、新たな推進組織（新法人）を設立し、人材確保と移住定住策を一体的・戦略的に展開する。</p> <p>1 コミュニケーション戦略</p> <p>(1) 移住者目線で強力的に情報発信</p> <p>(2) 将来的な移住・定住を見据えた関係人口の創出・拡大</p> <p>(3) 移住・二地域居住・ワーケーション等「やまがた暮らし」の効果的な発信</p> <p>2 マッチング・相談戦略</p> <p>(1) 移住希望者とのマッチングの強化</p> <p>(2) 移住定住・人材確保一体となった首都圏での「攻め」の相談体制</p> <p>3 定住・定着戦略</p> <p>(1) 山形らしい移住促進策の一体的展開</p> <p>(2) 移住支援金の支給（移住・起業・就業タイプで申請）</p> <p>(3) 空き家を移住に効果的に活用する住宅マネジメントの展開</p> <p>(4) 市町村・地域等の受入機能のサポート他、定住・定着に係る事業</p> <p>4 総合的な推進体制の構築</p> <p>(1) 産・学・官連携の移住定住・人材確保一体的な推進体制の構築</p>	<p>1 コミュニケーション戦略の本格的展開</p> <p>(1) 移住者目線で強力的に情報発信 821,144円</p> <p>2 マッチング・相談戦略の本格的展開</p> <p>(1) 移住希望者とのマッチングの強化 447,170円</p> <p>3 定住・定着戦略の本格的展開</p> <p>(4) 市町村・地域等の受入機能のサポート他、定住・定着に係る事業 587,800円</p>	1,856,114円	928,057円	指標①	新規移住者数	800人	914人	地方創生に相当程度効果があった	事業は適切に実施されている	政策推進課
						指標②	移住相談窓口への年間相談件数	400件	2,961件			
						指標③	移住定住ポータルサイトアクセス件数	10,000件	246,204件			
2	特色ある地域資源を活用した農観連携による稼ぐ力創出と交流人口拡大戦略	<p>本事業により進める「農観連携によるむらやまアグリランド構想」は、大規模農家を問わず持続可能な農業経営を実現するため、農業・自然体験や移動型産直を組織的に取り組み、稼ぐ力を創出し交流人口の拡大を図るものである。</p> <p>○「組織的に取り組む等の新たな販売方法」として、事業推進主体を中心に、農業・自然体験の受入体制整備に向けた事業者ネットワークを形成し、コーディネーターの指導のもと、マーケティング調査、運営組織体制を整備する。また、体験プログラム及び農産物の受発注を管理するため、受発注システムを導入し販路拡大を図る。</p> <p>○小規模農家の販路となっている移動型産直については、同様に組織に加入し情報発信力を強化しながら販路拡大を図る。また、高齢者でも可能な軽作業による小規模農家を育成し、少量多品種に対応できる運営を行う。</p> <p>高齢者買い物困難者に対応した移動型産直体制を構築するため、福祉関連事業者（市社会福祉協議会）と連携し、需要調査や販売方法の検討を進める。</p> <p>○大規模農家については、ICTを活用した新たな農業スタイルとしてドローンによる施肥、防除の研究、実証試験に取り組み、効果検証を行うとともに組合を設立し実証圏場を拡大させ、さらに面積拡大を可能にし、法人化や組織化に取り組み、新規就農者の確保や移住就農者の確保、農業後継者の育成に結びつける。</p> <p>○天然じゅんさいについては、天然じゅんさいの再生に向け浚深工事による実証実験を実施し継続的に効果を検証する。また、県内外から採取を行うサポーターを募り、多くの人にじゅんさいの魅力をアピールするとともに沼の環境改善と採取量及び売上増加に取り組む。</p> <p>○香りのバラについては、バラのまちとしての「新たな魅力を創出」として、ホストタウンの相手国フレグリアの特産品であるローズウォーターの国内生産、精製に向け、香りの強い品種（ダマスクローズなど）を植栽し、生産技術の習得に取り組む。また、香りのバラの知名度を向上させるため、PRイベントを開催し、摘みとり体験や6次産業新商品の開発を行う。</p>	<p>1 「アグリランドむらやま」の推進</p> <p>1) 農業・自然体験、移動型産直推進事業 5,826,253円</p> <p>2) 農業担い手育成確保支援事業 1,162,534円</p> <p>3) 6次産業新商品開発支援事業 90,000円</p> <p>2 新たな地域資源の活用</p> <p>1) 「天然ジュンサイ」活用事業 2,794,890円</p> <p>2) 「香りのバラ」活用事業 3,435,419円</p>	13,309,096円	6,654,547円	指標①	売上増加額	12,500千円	7,963千円	地方創生に非常に効果的であった	事業は適切に実施されている	農林課 商工観光課
						指標②	農業・自然体験増加者数	5,600人	845人			
						指標③	担い手の農地利用面積	30ha	151ha			
						指標④	6次産業に関する新商品開発件数	3件	6件			

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業の内容	事業費	交付金充当額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)			本事業終了後における実績値	外部有識者からの評価	事業担当課	
						指標	目標値	実績値				
3	特色ある歴史文化資源を活用したまちづくり「れきふんプロジェクト」	<p>①歴史文化を活用した「まちづくり」</p> <p>「まちづくり協議会（市内8団体）」と連携し、住民や子ども達によるまち歩き、史跡訪問、伝統文化の伝承などの歴史文化を活用した体験イベントを実施する。</p> <p>歴史文化イベントとして外部講師を招聘して実施する「れきふんカフェ（仮称）」の開催や、地元産業高校生と連携し、地域の歴史文化に触れる機会を創出し、理解促進と保存・活用の担い手育成につなげる。</p> <p>これらの理解促進の効果を固り定着を目指す、市独自の「れきふん検定（仮称）」制度の創設を行い、村山市を訪れる人に対してガイド役となる人材を育成する。</p> <p>②稼げる「歴史文化の保存・活用」のモデルケース形成と横展開</p> <p>これまでの取組により、体験商品の内容や価格設定などのプラン作りはほぼ完了しているが、これを対外的にPRし、インバウンドを含む国内外の交流人口を増やし、居合道そのものの振興につなげていくため、観光コーディネーターの助言を受けながら、旅行会社へのPRや受入体制の強化に取り組むとともに、地域内外の子ども達への居合道体験イベントの実施により、居合道の継承者育成を図る。</p> <p>さらに、居合道観光商品化をモデルケースとして、「大わらじ奉納・わら細工文化の伝承」や、「最上川舟運文化と三難所」の活用などに横展開を図る。</p>	<p>1 歴史文化を活用した「まちづくり」事業 1,757,000円</p> <p>2 稼げる「歴史文化の保存・活用」事業 4,756,332円</p> <p>3 地域歴史文化財活用による人材育成事業 486,296円</p>	6,999,628円	3,121,314円	指標①	本事業により開発した観光商品の売上額	2,340千円	1,120千円	地方創生に相当程度効果があった	事業は適切に実施されている	商工観光課 政策推進課 生涯学習課
						指標②	歴史文化活用事業への参加者数	20人	58人			
						指標③	本事業により開発した観光商品の購入者数	200人	23人			
						指標④	歴史文化の活用を図る地域団体等の会員数	15人	129人			
4	雪を活かした交流拡大による地域活性化及び地域産業振興事業	<p>1. 活力ある雪国づくりの戦略的展開と施策持続性の確保</p> <p>○新たな雪対策基本計画・行動計画の策定事業</p> <p>2. 雪を活かした地域活性化の基盤づくり</p> <p>(1) 「雪」のイメージ向上</p> <p>○県民向け雪に親しむ活動の啓発事業</p> <p>○県外向け雪の好イメージ発信事業（四季の雪イメージ映像作成事業）</p> <p>(2) 冬期間の交流及び安心安全な住民生活の確保をはかる環境づくり</p> <p>○スノーインベーション推進事業</p> <p>○ICTを活用した道路除雪の省力化・効率化の実装事業</p> <p>3. 「雪国やまがた」のブランド化による交流人口の拡大</p> <p>○県民向け雪に親しむ活動の啓発事業&lt;再掲&gt;</p> <p>○県外向け雪の好イメージ発信事業（四季の雪イメージ映像作成事業）&lt;再掲&gt;</p> <p>○雪国ブランドモデル構築事業</p>	<p>1 ICTを活用した道路除雪の省力化・効率化の実装事業</p> <p>3,421,000円</p>	3,421,000円	1,710,500円	指標①	冬季間の観光入込み客数の年間構成比	1.0%	統計値未発表	地方創生に相当程度効果があった	事業は適切に実施されている	建設課
						指標②	雪害事故の発生件数	6件	△2件			
						指標③	県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した移住者数	800人	914人			

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業の内容	事業費	交付金充当額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価	事業担当課	
						指標	目標値	実績値	事業効果			
5	むらやま人の流れ創出プロジェクト	<p>全国の村山市のファン層に対しアンケート調査を行い、彼らが必要とする情報を提供しながら、本市に何度でも足を運んでもらう。副業・兼業などの多様な形態で、本市に継続的に関わる都市部からの人の流れをつくり、将来的な移住定住に結び付けられるもの。</p> <p>○関係人口創出事業</p> <p>本市のファン層であるふるさと納税寄付者4.4万人、自動車学校合宿生約3千人、東沢バラ公園来場者約19万人、観光サクラランが園来園者約5千人等を、関係人口につなげるために、市内の情報や取り組みをSNSで発信し、ワーケーション事業やお試しオフィス・お話し勤務事業につなげていく。</p> <p>○むらやまファン交流事業</p> <p>本市の関係人口創出に熱心な首都圏の法人に事業を委託する。関係人口予備軍に対して、本市主催の首都圏でのイベントの機会をとらえて、市の取組に関する報告会や交流会を開催する。SNSを通して関係人口予備軍への情報提供を行い、関係人口の拡大を図るとともに継続的な交流を行う。</p> <p>○むらやまワーケーション事業</p> <p>様々な分野での年間を通して体験や、地域の伝統行事に参加するなどのツアーを実施し、都市部の本市ファンと、継続的なつながりを構築するワーケーション事業を実施する。</p> <p>また、将来的に地域の伝統行事の運営側となる人材の創出を目指す。</p> <p>都市部在住者だけでなく本市に仕事で本市へ立ち寄るなどの一時的に滞在者に対して、情報発信や交流のためのwebサイトやアプリを構築し、市内公共施設でICTを活用して配信し、新たな関係人口の創出につなげる。</p>	<p>○関係人口創出事業 8,926,600円</p> <p>○むらやまファン交流事業 2,268,195円</p> <p>○むらやまワーケーション事業 379,500円</p>	11,574,295円	5,673,847円	指標①	移住者数	3人	0人	<p>地方創生に相当程度効果があった</p>	<p>事業は適切に実施されている</p>	<p>政策推進課</p>
						指標②	関係人口が開業した個人事務所やサテライトオフィスの稼働延べ日数	100日	239日			
						指標③	村山に関連するハッシュタグ#での検索数	10,000件	8,964件			
						指標④	事業参加者が発信した作業体験等の情報発信件数	100件	0件			
6	「恋人の聖地」観光誘客連携による地域活性化事業	<p>(1) ICTを活用した恋人の聖地等へ観光誘客するための「未訪旅行者情報共有のためのプラットフォームの整備」(プラットフォーム整備事業)</p> <p>①各市町村に訪問する旅行者等の顧客情報を登録し、IoT等を活用したプラットフォーム登録旅行者の状況(回遊状況)を把握する機能</p> <p>②各市町村の店舗、特産品、グルメ、宿泊、施設、観光スポット、各種イベント等を登録し、自動的にWEB公開する機能</p> <p>③各市町村の民間事業者(店舗・施設等)を恋人の聖地「協力事業者拠点」として登録し、集客するための優待情報を登録する機能</p> <p>④情報コンテンツの多言語化拡張機能</p> <p>⑤①で把握した情報を基に、②③の情報を、必要な顧客にメール・SNSを利用して、必要な時期に、必要な場所で提供する機能</p> <p>(2) 恋人の聖地の魅力増進及び周辺領域へのブランドの波及(ブランド力増進・商品開発事業)</p> <p>(3) 恋人の聖地観光誘客の共同プロモーション(ブランドプロモーション事業)</p> <p>①WEB発信に適した映像コンテンツ、ご当地限定サービス等、旅行者に対するプロモーションコンテンツの作成・開発・配信・配布</p> <p>②各市町村等によるWEBサイト、SNS、メール、ピーコック等によるプッシュ型配信を活用した旅行者に対するきめ細かな情報発信</p> <p>③各種イベント等での旅行者に対する各種プロモーションによるプラットフォームへの新規登録やSNS等での投稿の促進</p> <p>④ハッシュタグ「#恋人の聖地」といったSNS等の機能の活用による旅行者の体験の共有</p> <p>⑤観光メディア、観光事業者、マップ配信事業者に対する本事業のプロモーション</p>	<p>1)恋人の聖地共同基盤「ICTを活用した観光誘客連携事業」3,564,000円</p> <p>2)恋人の聖地連携各市町村の旅行者登録促進、回遊促進事業3,777,215円</p> <p>3)恋人の聖地連携市町村の回遊・交流促進PR事業6,680,713円</p> <p>4)恋人の聖地の広域連携ブランド化・新商品開発事業980,001円</p> <p>5)恋人の聖地「東沢バラ公園」の魅力配信拠点整備事業3,781,800円</p>	18,783,729円	9,350,963円	指標①	プラットフォーム登録旅行者数	43,200人	34,442人	<p>地方創生に非常に効果的であった</p>	<p>事業は適切に実施されている</p>	<p>商工観光課</p>
						指標②	協力事業者拠点件数	120件	120件			
						指標③	旅行者満足度指数	3%	8%			

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業の内容	事業費	交付金充当額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価	事業担当課	
						指標	目標値	実績値	事業効果			
7	中心市街地のにぎわい創造と新しい「しごと」づくり事業	<p>令和4年春オープン予定の「Link MURAYAMA」を、様々な複合機能を持つインキュベーション施設として整備を進め、市内外そして首都圏から利活用希望者を誘致することにより、都市部から新しい人や金の流れを生む仕組みを構築する。</p> <p>○にぎわい創造活性化事業 中心市街地のにぎわいを取り戻すために多様な利用者が集い、にぎわいの創出と経済効果を生む拠点とするために、様々な複合機能を持つインキュベーション施設として「Link MURAYAMA」の整備を進める。また、コワーキングスペースを利活用者の交流と連携を進める核として、現在の賑業プラザから「Link MURAYAMA」へ移転し機能を強化する。</p> <p>○中心市街地再開発事業 中心市街地（橋岡商店街）の空き店舗や空き事業所や空き家の状況を調査、今後の活用について検討ののち、実際に活用し再開発を推進していくもの。「Link MURAYAMA」内のオフィス機能にはスペース的に限りがあるために、中心市街地の空き店舗や空き事業所の利活用を進め、それらの利活用希望者を支援する。また、中心市街地にオフィス活用希望する移住事業者や関係人口の誘致を進める。</p> <p>○UIターン促進事業 「Link MURAYAMA」利活用事業者は、県内外そして首都圏の様々な業種の事業者であり、彼らの知見を十分に活用し連携を積極的に進め、新しい仕事や雇用を作り出し、若者やUIターン希望者にとって、魅力ある働く場所と雇用を提供する。県外在住者や進学・就職を控えた若者世代を対象としたUIターン就職施策として、村山市ものづくり産業振興会を中心とした製造業者の求人情報を発信し、若者世代のUIターンを促進し人材を確保する。</p>	<p>1. にぎわい創造活性化事業 10,748,035円 2. 中心市街地活性化事業 3,834,000円 3. UIターン促進事業 2,359,308円</p>	16,941,343円	8,470,671円	指標①	利活用事業者の売上額合計	2,000千円	0千円	地方創生に効果があった	事業は適切に実施されている	政策推進課 商工観光課
						指標②	起業・創業した事業者数	15件	0件			
						指標③	サテライトオフィスやサテライトキャンパスの誘致件数	0件	0件			
						指標④	利活用者数	0人	0人			
8	ICTを活用した民間連携によるメディカルフィットネス事業	<p>Link MURAYAMAに市民の健康づくりの拠点となる「メディカルフィットネス施設」を整備し、ICTを活用した活動量や健康状態の「見える化」を実現するシステムの導入、運営を民間事業者に委託し、市民の健康づくりへの意識を向上させる。</p> <p>「健康づくり事業」について、 ①フィットネスクラブに出向き、効果的な運動方法や負荷のかけ方を先進的なフィットネスマシンを使い、医師会と協働で進める「医療連携」による専門的な指導を受けながら行う「メディカルフィットネス事業」 ②活動量計などICTを活用し毎日の運動量や健康状態をデータ化する「健康ポイント事業」 ③誰でも参加できる「地域巡回健康指導事業」</p>	<p>1. メディカルフィットネス事業 49,518,700円 2. 健康ポイント事業 8,315,878円 3. 地域巡回健康指導事業 480,000円</p>	58,314,578円	29,157,289円	指標①	メディカルフィットネスクラブ会員数	0人	0人	地方創生に相当程度効果があった	事業は適切に実施されている	政策推進課 保健課
						指標②	メディカルフィットネス施設利用回数	0回	0回			
						指標③	事業参加者数（村山健康ポイント事業）	200人	200人			
						指標④	健康指導・運動教室参加者数	160人	529人			
9	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業	<p>「『恋人の聖地』を有する市町村である」という縁を活用し、シティプロモーションを共通のテーマとして、「恋人の聖地観光協会市町村長会」加入の市町村のうち、広域連携によるデジタル・シティプロモーションによる地方創生事業に賛同する18市町村が連携し、次の事業を実施する。</p> <p>(1-1) 広域市町村連携シティプロモーション事業（SNS等の活用のためのポータルサイト等の基盤整備事業） 18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備する。 (1-2) 各市町村の連携シティプロモーション事業 参画市町村は独自のシティプロモーションを実施し、18市町村が連携を図る。 (2) 地域産業拡大事業 各市町村域（農林水産・観光）のデジタル情報価値（バリエーション・魅力）を高めるとともに、ソフト系コンテンツを開発する。各市町村がモニュメント整備、回遊プラン整備、イベント等を通して恋人の聖地をはじめとする地域の魅力を向上させる。 (3) 情報ネットワーク・地域活性化事業 デジタル・シティプロモーション事業部会設立による市町村間の実施事業の共有、連携プロモーション等の実施とともに、各地域において事業者・市民・学生も巻き込んだ「地方創生」を実現するための啓発事業を実施する。 (4) 市町村のブランド強化・収益構築のハード事業</p>	<p>(1-1) SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業 5,000,000円 ●共同PR・プロモーション事業 ●プラットフォーム企画展開事業 ●ポータルサイト基盤事業 ●事務局・部会等運営</p> <p>(3) 情報ネットワーク・地域活性化事業 10,422,180円</p>	15,422,180円	7,711,090円	指標①	観光入込数	2,326,000人	2,327,000人	地方創生に非常に効果的であった	事業は適切に実施されている	商工観光課 農林課 政策推進課
						指標②	ポータルプラットフォームへの投稿数	810件	2,138件			
						指標③	メディア掲載数	324件	357件			